

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2003-105158 (P2003-105158A)

【公開日】平成 15 年 4 月 9 日 (2003.4.9)

【出願番号】特願 2002-205106 (P2002-205106)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 33/12

C 0 8 F 220/14

C 0 8 K 5/524

// (C 0 8 F 220/14

C 0 8 F 220:06 )

【F I】

C 0 8 L 33/12

C 0 8 F 220/14

C 0 8 K 5/524

C 0 8 F 220/14

C 0 8 F 220:06

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 13 日 (2004.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

比較例 3 の熱可塑性アクリル樹脂組成物は、(メタ)アクリル酸に由来する構造単位を持たない比較例 1 のアクリル樹脂(メタクリル酸メチル樹脂)に遷移金属塩(B)(酢酸亜鉛)とリン化合物(C)[トリス(2,4-ジ-tert-ブチルフェニル)ホスファイト]を配合したために、溶剤(イソプロピルアルコール)に曝したときの亀裂が発生するまでの時間が 15 秒と短く、耐溶剤性に劣っている。しかも、比較例 3 の熱可塑性アクリル樹脂組成物から得られた成形体は、全光線透過率が 81% と低く且つヘイズ値が 32% と高く、光学特性に劣っており、さらに実施例 2 ~ 6 に比べて曲げ弾性率の点でも低い。